



民生委員・児童委員マーク

ともしび

にしのみや

第2号
平成28年3月1日発行
西宮市
民生委員・児童委員会

☎0798-35-3032
発行責任者：津吉治男

地区活動紹介

西宮市の民生委員・児童委員会には十三地区民生委員・児童委員協議会があります。各地区協議会は独自に様々な活動を行なっています。「ともしび」では毎月二地区を取上げ、紹介します。

中央地区

中央地区は浜脇、香櫛園、安井、用海、西宮浜の五小学校の校区が西宮市役所を東西南北から囲んでいる地域。民生委員・児童委員（以下委員と）は、福祉活動だけでなく、西宮神社の催しや行事にかかわり、歴史ロマンを感じながら活動している人もいます。委員の活動としては、五校区全員参加の地区定例会と各校区内で開かれる校区定例会が毎月一回あり、行政からの連絡や提案、専門部会など諸会合出席の報告、情報交換事例討議などを行います。毎年秋には高齢者実態把握調査を、また生後一カ月前後の赤ちゃん訪問を随時行っています。住民の相談は、担当地



域の委員が応じます。「介護申請はどうするの?」「といった質問や」「ベッドから落ち腰が痛い」など様々。即答できない内容は行政関係や専門機関へ連絡し、パイプ役の役割を果たしています。独居高齢者や子どもの事で心配な家庭は注意深く見守り声掛けしています。後日、本人や身内の方から「お世話になり、ありがとうございました」

がとう」の謝意には心が晴れる思いになります。住み良い地域社会づくりに、自治会・子供会・青少年愛護協議会などの諸団体と協力したり、小中高学校の先生と連携し、子どもたちを見守っています。更には社会福祉協議会の支援は、民生委員法のの中核となる活動で、仕事や家庭、体調に留意

鳴尾第二地区

第三地区民児協は鳴尾東校区・甲子園浜校区・高須校区の三校区で形成され、西宮市の南東部に位置しております。三校区ともに、ここ数年、高齡化が進み、民生委員・児童委員の選出にも影響を受けております。高須校区はほとんどが集合住宅の地域で、九千所帯、二万人の人口を持つマンモス住宅地です。まだ歴史の浅い、新しい地域と言えるでしょうが、入居開始の四十年前から比べると大きく様変わりを見せております。これまでは一斉改選時

しながら出来る範囲で参加しております。委員同士は、お互いに相談、親睦の食事やコーヒ、酒を飲みながら情報共有、課題の解決方法を話し合っています。活動を通じた感想は「退屈せず過ごせる」、「遺産」は福祉の知識と多くの知人」と述べる人が多い。(國裡克男)

の民生委員補充もそれなりに順調でしたが、委員の定年や諸事情で二六名いた委員が今では一七名と、欠員九名を数えています。その分、現委員の負担増となりこのままでは自然消滅するのではと思う日々ですが、それでも「あなた方がいるから安心」の言葉を励みに、みんな本当によく頑張っていると思います。各校区では、地域の活性化のため、また「明日は我が身」の思いで「つどえる場」を基盤とし、地域の方々への関わりや弱者への見守りに努めています。この活動を通し



て地域コミュニケーション形成の一翼を担っているのではと密か(笑)に自負しています。民生委員が地域で本当に必要であるか否かは、地域全体で考えて頂ければと思います。地域の中で私たちが担うべきものをどのように理解して頂けるか、ご協力を得られるかと、日々考え、悩み、迷いながらも委員全員で力を合わせ

て活動に繋がっております。辛いこともないとは言えませんが、それ以上に喜びを頂けるよう、民生委員・児童委員が細々でも地域の『ともしび』となるよう、これからみんなで手をつなぎながら・・・笑顔、笑顔。(貫山好江)

編集後記



「知名度八七%」初出展の西宮市民祭りのアンケート結果はうれしい誤算でした。想定していた記事「民生・児童委員の認知度はこんなに低い!」広報部会の責務痛感」はボツ。

▼『ともしび2号』は今年一二月の一斉改選に向けて主な読者を新任民生委員候補と諸団体などの地域の推薦者も意識した特別号です。一面 改選の概要 二面 活動のイメージ 三面 活動の魅力 を紹介しています。

▼四面四面の記事。民生委員活動が自分自身の成長の糧となったとの「感想」や活動を通じての「喜び」や「楽しさ」の経験は民生委員全員の共通の認識です。▼この号の記事がきっかけで、民生委員の活動に関心をもたれる方が増え、一斉改選後には欠員が解消されることが夢です。(橋)

民生委員の一斉改選

セカンドライフの魅力な活動

一斉改選って何?

民生委員は民生委員法で設置が定められ、厚生労働大臣から委嘱された特別職の非常勤公務員です。守秘義務がある無報酬のボランティアで地域の福祉を担っています。任期は三年で改選日は全国共通です。次回改選は今年十二月一日で、西宮市でも定数七二三名(うち四二名は主任児童委員)が一斉に改選されます。西宮市の二万六千世帯に対して一人当たり平均約三二〇世帯を担当しています。

民生委員の改選は、次のような事由に伴う欠員補充が課題です。委員定数に満たない欠員の補充、既存の民生委員の個別の事情による辞任に伴うもの、年齢制限に伴う退任者補充、その他です。民生委員の年齢制限は七五歳(主任児童委員は

六五歳)ですが、委嘱日に制限年齢未達であれば就任可能です。※数字は平成二十七年十二月一日現在数

子育て世代はさかすか

民生委員は地区民児協に所属します。西宮市では十三地区民児協があり、地区民児協の下に一五の校区民児協(計三三校区民児協)が置かれています。民生委員は基本的に校区民児協単位で設けられた民生委員推薦準備会を担当地区毎に選任されます。民生委員の選任には地域の支援が必要

子育て卒業母さんのセカンドライフ

地域活動を支える圧倒的多数が「子育て卒業母さん」です。子育て負担が一段落した時、彼女たちのセカンドライフが始まります。

もちろんこのご時世では、本格的にパート勤務等をする方も多い筈です。それでも子育て後の永い人生を思った時、何か人のお役に立ちたいという方も多いのではないのでしょうか。

民生委員の役割は、個人活動が基本ですので、パート勤務と両立させながら活動している方もいらっしゃいます。

リタイアおじさんの円滑な地域活動参加

地域活動を支えるもう一方の層が「リタイアおじさん」です。リタイア後は地域との関わりを持ち、経験や知識を生かしてお役に立てればと思っている方も多いのではないのでしょうか。

ところが「いざ地域活動を」と思っても、現役生活を地域と無縁のまま過ごしてきた方には、地域の繋がりがや地域活動の手がかりがほとんどありません。民生委員という活動はリタイアおじさんが地域活動にごく自然に溶け込んでいける魅力的な活動と言えると思います。

こんな人を民生委員に!

- 時間のやりくりがしやすい人
- 地域住民としての立場で物事がみられる人
- 相談者の多様な個性や生き方を大切にできる人
- 「何よりも人が好き」な人



民生委員・児童委員数 (平成27年12月1日現在)

地区	定数	現員	男	女
中央	94(5)	86(5)	22	64
夙川	46(3)	46(3)	7	39
大社	55(3)	53(3)	4	49
広田	40(2)	40(2)	6	34
今津	69(3)	65(3)	13	52
芦原	25(2)	24(2)	6	18
鳴尾第1	48(3)	48(3)	5	43
鳴尾第2	44(2)	41(2)	3	38
鳴尾第3	58(4)	46(3)	2	44
瓦木	84(4)	80(4)	19	61
甲東	85(6)	83(6)	18	65
塩瀬	46(3)	46(3)	10	36
山口	29(2)	29(2)	13	16
計	723(42)	687(41)	128	559

()は主任児童委員数

ある民生委員の活動日記

一月某日 健やか赤ちゃん訪問



朝十時、健やか赤ちゃん訪問で主任児童委員のご婦人と連れ立って訪問先を訪ねた。チャイム音で玄関先に姿を現わしたのは若々しい二十代のお母さんだった。

お母さんと会話を交わすのは専ら子育ての先輩である主任児童委員さんである。リタイヤオヤシの出番は少ない。挨拶を交わした後は、世代を超えたお母さん二人の会話を伺った。

三月某日 地元中学校の卒業式に来賓参列



民生・児童委員に就任して以来、地元の小・中学校の式典の来賓出席の案内状が届くようになった。出席してみたいと思われ、式次第の中に来賓紹介があり、一人ひとり名前を呼ばれ紹介される。保護

者席には担当地区の保護者も多い。地区の皆さんに児童委員であることを伝える絶好の場である。可能な限り参列することにしていく。

「子供たちの式には行ったことないのに」帰宅後の妻の皮肉が身に沁みだした。

四月某日 社協分区分の総会に出席



社会福祉協議会分区分の総会に出席した。今年の総会では「高齢者見守りの推進」をテーマに「安心キット」の導入が提案された。

※安心キットは市社協が推進する救急隊員に迅速に情報提供するツール

高齢者や児童等の地域の見守りや支援を目的とした組織である。民生委員就任とともに分区分役員にも就任している。少子高齢化に拍車がかかる現状で、この地域組織の役割は重い。

イマドキの子供たち

地区の青少年愛護協議会の会合に出席した。会合では地域の児童が通う幼稚園、小学校、中学校、高校の先生方も参加され、時節の行事や子供たちの様子が報告される。



報告で気になったのは小中学校での子供たちの問題行動である。中学校では減少し小学校で増えるという低年齢化が顕著なようだ。児童委員として子供たちの情報に接する貴重な機会である。

八月某日 二近所のおばあちゃんからの情報

散歩中に二近所のおばあちゃんに声を掛けられた。「昨晚、チャイムが鳴りモニター越し見慣れないおじいさんから『入れてくれ』と繰り返された。認知症の方の徘徊のようだった。民

特集

私とつながりの民生委員

地域の人とつながりの系

甲東地区



甲東地区 田中登

我が心るささ上ヶ原は、気候温暖で、緑豊かな自然に恵まれた地です。

セカンドライフの始まりとともに民生委員活動をスタートさせて頂き、早二年が経過しようとしております。

福祉からは遠い世界に身を置いてきた者には、民生委員活動は、未知の世界で驚きの連続でした。

民生委員は特別職の非常勤公務員であること、幅広い社会福祉に関する知識が必要であること等を知り、自分出来るだろうか？と不安になる時期もありましたが、先輩諸氏のアドバイスや導きにより、その役割を十分には果たせておりませんが、今日まで続けることが出来ました。

この間、社会福祉協議会や青少年愛護協議会等

の関わりから、様々な分野の方々と接する機会を得て見聞と人の輪を広めることができました。

又、地域の様々な行事に参加させて頂き、多くの人達の支えで地域社会が成り立っていることを改めて実感致しました。

この間、民生委員としての責務を果たし、少し



夙川地区

父の姿に照らして

夙川地区 正明裕子

私が、民生委員・児童委員の事を知ったのは、まだ学生の時でした。夜になると、我が家を訪れる方が、父と話されている光景を陰ながら、目にする事が度々ありました。父は静かに民生委員として、その方の悩みを聴い

でも地域社会に貢献できればと思っていました。逆に色々勉強させて頂き、自分自身の成長の糧になっているように思います。

私にとって民生委員とは地域社会を学ぶ教本であり、福祉について学ぶ場であり、地域の人達との繋がりの糸であると思っています。

今後も民生委員活動を通して、微力ながら地域社会の福祉向上の為に役立てるよう精進していきたいと思っています。

生委員さんには伝えておこうと思ったので。お話を伺い、認知症徘徊者の地域の見守り環境づくりが急務だと痛感した。

担当エリアは広く高齢者も三百人を超える。民生委員には地域の皆さんの情報提供がありがたい。



永年車イス生活だったご主人を昨年亡くされたお宅を訪ねた。毎年訪問の際ご夫婦と玄関先で親しく雑談を交わしていた。

奥さんからぜひお参り下さいと仏間に招かれた。笑顔のVサインの遺影に手を合わせた。しばらく思い出話を交わし永年の介護生活にねぎらいの言葉を掛けて辞去した。

民生委員の職務を越えたいふれあいウルツとしながらこの役職の手柄えを実感した。

十一月某日 証明事務で状況確認書を作成

近所のご主人が来訪され申請書を渡された。児童扶養手当受給者の現況

届だった。民生委員の状況確認書に署名捺印してもらい、届出書類に署名捺印してお渡した。



民生委員の役割のひとつである証明事務である。

十二月某日 地区民児協の忘年会

恒例の地区民児協の忘年会に出席した。毎月の定例会の淡々とした議事進行と違って、年に一度の忘年会は委員相互に忌

憚なく意見交換ができる貴重な機会である。




所属の地区民児協は旧来の街と新興住宅街の委員の混成部隊である。交流は進んでいるが、住民間の垣根は尚残されている。忘年会の懇親を通じて新旧住宅街の風土や意識の違いを理解できたことも民生委員という役職の賜物である。

にしのみや市民祭りでブース初出展!

民生委員・児童委員会が今年度初めて市民祭りのふるさとブースに出展しました。各地区派遣の民生委員が分担する運営スタッフが、ブース前で行きかう皆さんに声をかけます。「民生委員をご存知ですか。シールを貼ってメモ帳をお受け取り下さい」。予想外に良い反応でスタッフが首から下げたパネルを次々とシールが埋めていきます。最終的に1,308名の方にシールを貼って頂き、87%の方に「民生委員を知っている」と回答して頂きました。

委員会初の市民祭り参加が幸先の良いスタートを切りました。



は実家が阪神大震災で全壊し、名も知らぬ多くの方々のお陰で救い出された家族の命に感謝し、少しでも地域にお返し出来ればと思つたからでした。



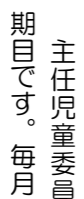
塩瀬地区

主任児童委員

浦入智子

子育てお母さんに送るエール

若い方との触れ合いで元気を頂き、幼い子供たちの無邪気な姿に接し、心と清まる自分に気付きます。又、年配の方から多くを学び、そして喜んで下さる姿に、民生委員・児童委員の役目の大切さを感じます。今までは余り話されない方が、思いもよらず心開いて下さった時の喜びは何よりものです。今、やっと父に感謝できる自分になります。微力ながらもお役に立ちたいです。



主任児童委員になり二期目です。毎月の健やか赤ちゃん訪問は、子育てサロンと共に大切な仕事の一つ。今は大好きなこの仕事ですが、始めは毎回ドキドキしていました。初めての訪問は、市の母子支援の方と民生委員さんと私の三々。インターホンの前で少し緊張。担

当者さんはためらいなくボタンを押し、丁寧に対応！さすが！とても慣れたにこやかな訪問でした。見知らぬお宅を突然訪問することが初めてだった私はホッとしました。怪しい訪問販売と間違われたいかと内心ヒヤヒヤしていたのです。それから民生委員さんと二人での訪問が始まり

子育ては誰もが初めてのことばかり。大切なこの時期に少しでもお役に立てたらと思いきや、訪問を断っています。

